

2014年10月期(33期) 第2四半期 決算及び事業内容のご説明

－当期を含む3ヶ年計画－

説明者 代表取締役 堂山 道生

平成26年7月5日

株式会社システムディ



於：シティプラザ大阪

会社概要



(2014年4月30日現在)

社名	株式会社 システムディ
代表者	代表取締役 堂山 道生
創業	1984年8月14日
上場	東京証券取引所 JASDAQ:3804 2006年4月上場
資本金	4億8426万円
役員・従業員数	195名(内シンク8名、新公会計研究所11名)
事業内容	特定業種向けのパッケージシステムの開発・販売
取引銀行	三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、滋賀銀行、京都銀行
発行済株式数	3,249,000株
株主数	2,372名
資格	ISMS認証(ISO 27011)、プライバシーマーク付与認定
所在地	本社 : 〒604-8172 京都市中京区烏丸通り三条上る 東京支社: 〒105-0012 港区芝大門2-10-12 KDX芝大門ビル6F
主要顧客	NTT東日本、NTT西日本、NEC、富士通-富士電機、日立製作所、京セラ丸善SI、大学、フィットネスクラブ、自治体、民間企業 他
主要仕入先	マイクロソフト、富士通、NEC、トレンドマイクロ 他

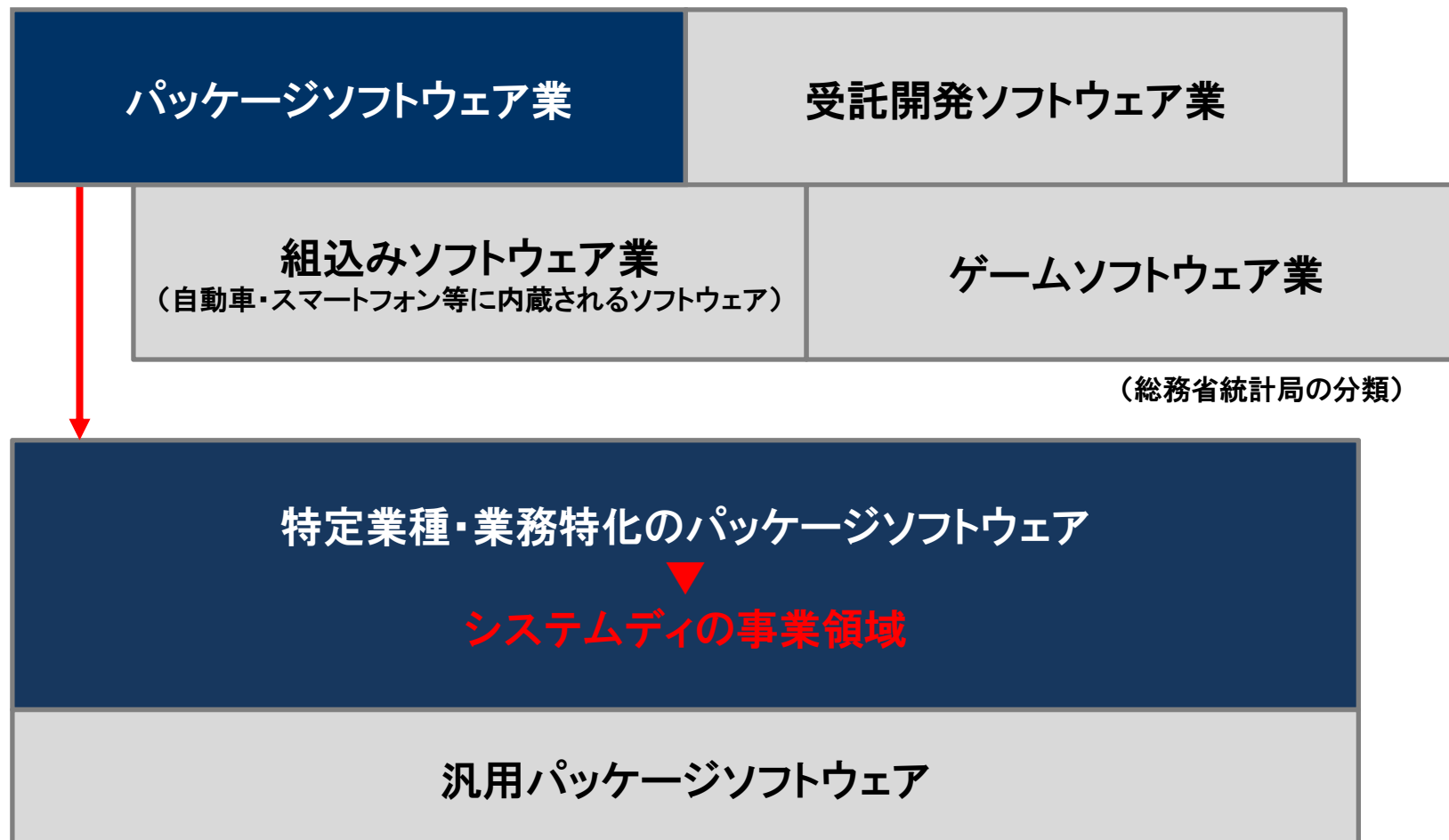
システムディの事業内容

システムディとは、フランス語で
「制約のある中で最高の物を造り上げる」
という意味です

私たちは与えられたその時の環境の中で
BESTのソリューションを顧客に提供し続けます

ソフトウェア業の中でシステムディの領域

JASDAQ
3804



※特定業種・業務特化のパッケージと汎用パッケージの違い
会計パッケージを例とした場合、【汎用会計パッケージ】はどの業種にも大体適応できる会計パッケージで、
【業種特化の会計パッケージ】は業種固有の特殊処理を初めから組み込んだ会計パッケージです。

特定業種・業務特化のパッケージビジネス

JASDAQ
3804



公共向けパッケージ(新規事業)

民間向けパッケージ(既存事業)

文教分野

健康分野

公会計分野

■システムディのパッケージ
顧客要求の徹底分析に基づく不断の機能改善
【スパイラル】なパッケージの発展＝パッケージの価値向上
業種固有の機能を網羅、部門毎に複数のパッケージ導入が不要
【ワンストップ】の処理を実現

■経営の基本方針
顧客最優先
自社パッケージによる最適なソリューション
業種・業務No.1のパッケージ

民間(既存)事業4部門

JASDAQ
3804



文教・健康分野を中心に事業展開。ストックビジネスも伸展。

民間	公共	文教	健康	事業名	事業概要	顧客数
○		○		学園 ソリューション	1985年発売開始。業界No.1の導入実績の学園向けトータルソリューション【 キャンパスプラン 】。機能拡充で顧客の囲い込み。クラウドで新規市場開拓。	890
○	○		○	ウェルネス ソリューション	1980年発売開始。フィットネスクラブ・スイミングスクール向け会員管理システム【 Hello 】。会費回収業務では月間50億円の自動振り替えで稼働中。	621
○		○		ソフト エンジニアリング	【 規程管理 】シリーズを中心に企業、学園、公益法人のコンプライアンス、コーポレート・ガバナンス支援製品で事業展開。新規獲得の半数はクラウド型。	183
○			○	薬局 ソリューション (株式会社シンク)	1997年に調剤薬局向けレセコン【 GOHL 】、大阪府薬剤師協会加盟店仕様の【 OKISS 】。の発売開始。2011年に【 薬歴情報電子ファイル 】をリリース。安定したストック収入を確保。	1,203

(各事業の製品ラインナップはご参考頁をご覧ください。)

累計顧客数(2014年4月末)

5

公共(新規)事業2部門

JASDAQ
3804



民間事業のノウハウを基に公共分野へ参入。事業の拡大を目指します。

公 共	文 教	会 計	事業名	事業概要	顧客数
○	○		公教育 ソリューション	2010年に公立小中高校向けの校務支援サービス【School Engine】の提供を開始。国内初のクラウド型サービス。小中校向けのパブリッククラウド型が増加。県立高校向けのセンター集中型にも対応。大型商談が急拡大。	567
○		○	公会計 ソリューション	2012年12月に(株)PMCより公会計システム事業 公会計パッケージ【PPP】、開発・保守要員、保守売上、販売代理店網を譲り受け。2013年1月より本格稼働。	180
			株式会社 新公会計研究所	2013年4月に子会社化。新地方公会計制度に関する調査研究、コンサルテーション、研修及び普及が主業務。	(50)

(各事業の製品ラインナップはご参考頁をご覧ください。)

累計顧客数(2014年4月末)

6

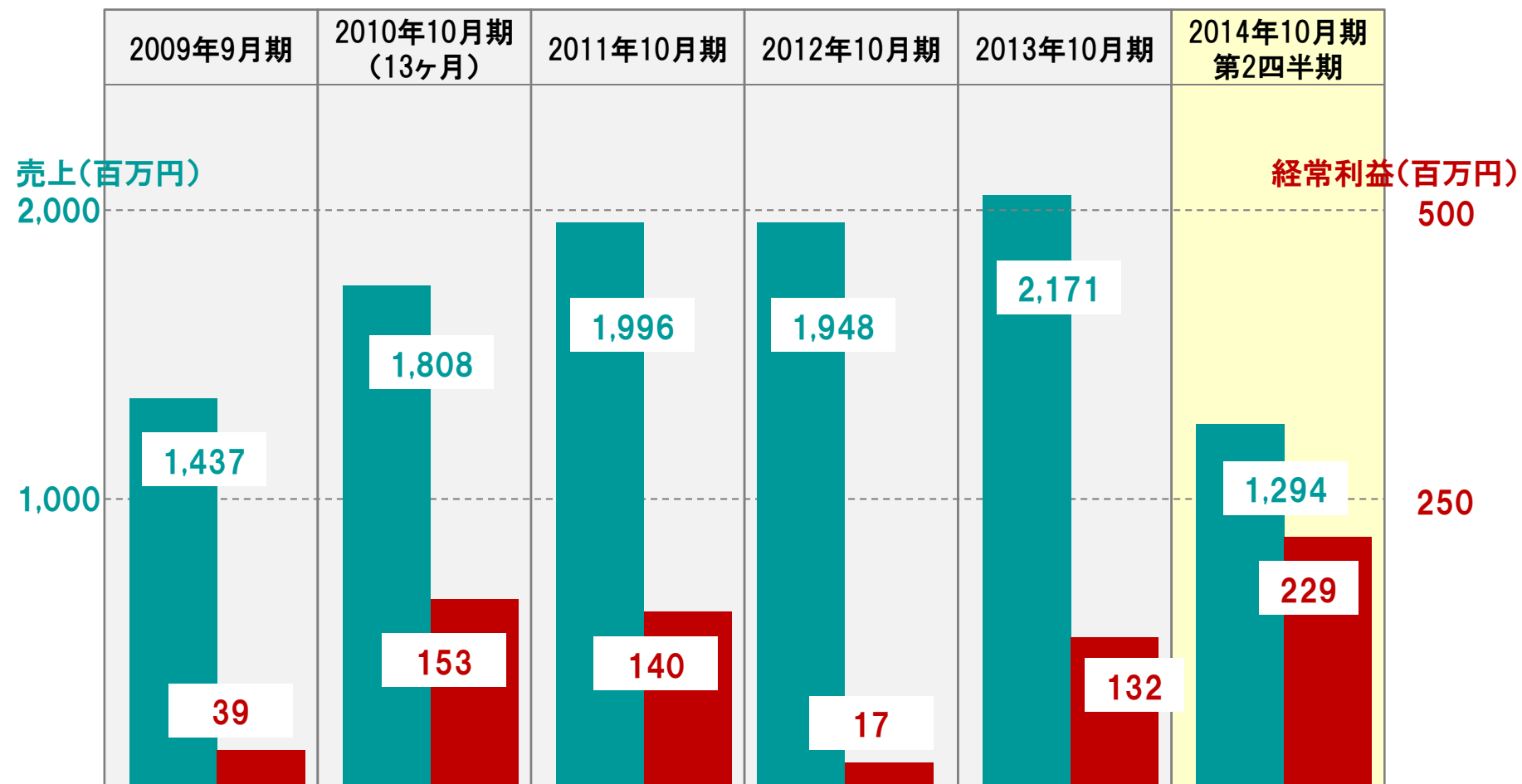


JASDAQ
3804



業績の推移及び今期計画

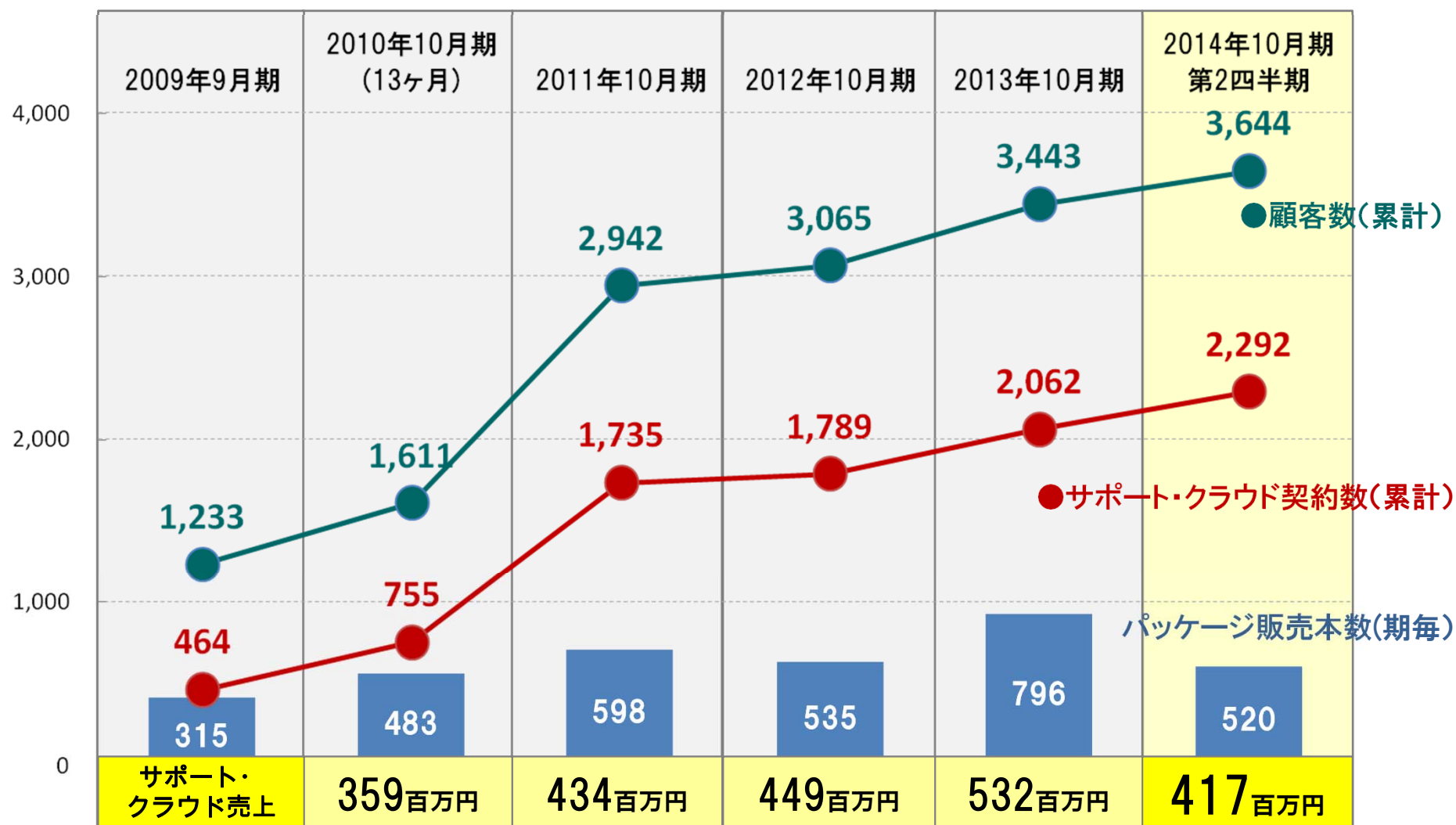
売上高・経常利益の推移



※ 2010年10月期以前は個別数値、2011年10月期以降は連結数値を記載しております。

パッケージ販売本数・ユーザ数・サポート契約数の推移

ASDAQ
3804



※ 2010年10月期から公教育、2011年10月期からシンク、2013年10月期から公会計を加えた数となっております。

2014年10月期計画

(単位:百万円)

	2013年10月期	2014年10月期		
		計画値	前年度増減	前年同期比(%)
売上高	2,171	2,410	239	111.0
営業利益	141	163	21	115.3
経常利益	132	150	17	113.4
当期純利益	132	143	10	108.1



JASDAQ
3804



2014年度10月期第2四半期 決算概要

■ 当期決算概況

JASDAQ
3804



**増収増益 経常利益は前年同期比67.1%増の2億2992万円
ここ数年の停滞期を脱しつつある**

**主力2事業(学園・ウェルネス)が堅調
パッケージ販売本数は前年同期を上回り
単価の低下傾向をカバー**

**ユーザ数・サポート契約数(クラウド含む)が順調に伸び
安定収益基盤の拡大**

- 公共分野向け事業が前進**
- ①**公教育事業 確実な広がり 導入校が129校増の567校に**
 - ②**公会計事業 総務省が新公会計統一基準を明示
普及・拡大に向けてのスタート時期**

損益計算書

前年同期比

(単位:百万円)

	2013年10月期 第2四半期	2014年10月期第2四半期		
		実績	前年増減	前年同期比 (%)
売上高	1,140	1,294	154	113.5
売上総利益	494	623	129	126.2
営業利益	142	235	93	165.2
経常利益	137	229	92	167.1
当期純利益	94	160	66	169.8

当初計画比

(単位:百万円)

	2014年10月期 計画値	2014年10月期第2四半期			
		計画値	実績	計画増減	計画比 (%)
売上高	2,410	1,252	1,294	42	103.4
売上総利益	996	538	623	84	115.7
営業利益	163	137	235	98	171.5
経常利益	150	130	229	99	176.8
当期純利益	143	80	160	79	198.7

貸借対照表

(単位: 百万円)

		2013年10月期	2014年10月期第2四半期	
			実績	増減額
資産合計	流動資産	1,124	1,210	86
	固定資産	1,898	1,894	△4
		3,023	3,104	81
負債合計	流動負債	1,097	1,009	△88
	固定負債	604	625	21
		1,702	1,634	△67
純資産合計		1,320	1,470	149
負債純資産合計		3,023	3,104	81

キャッシュ・フロー計算書

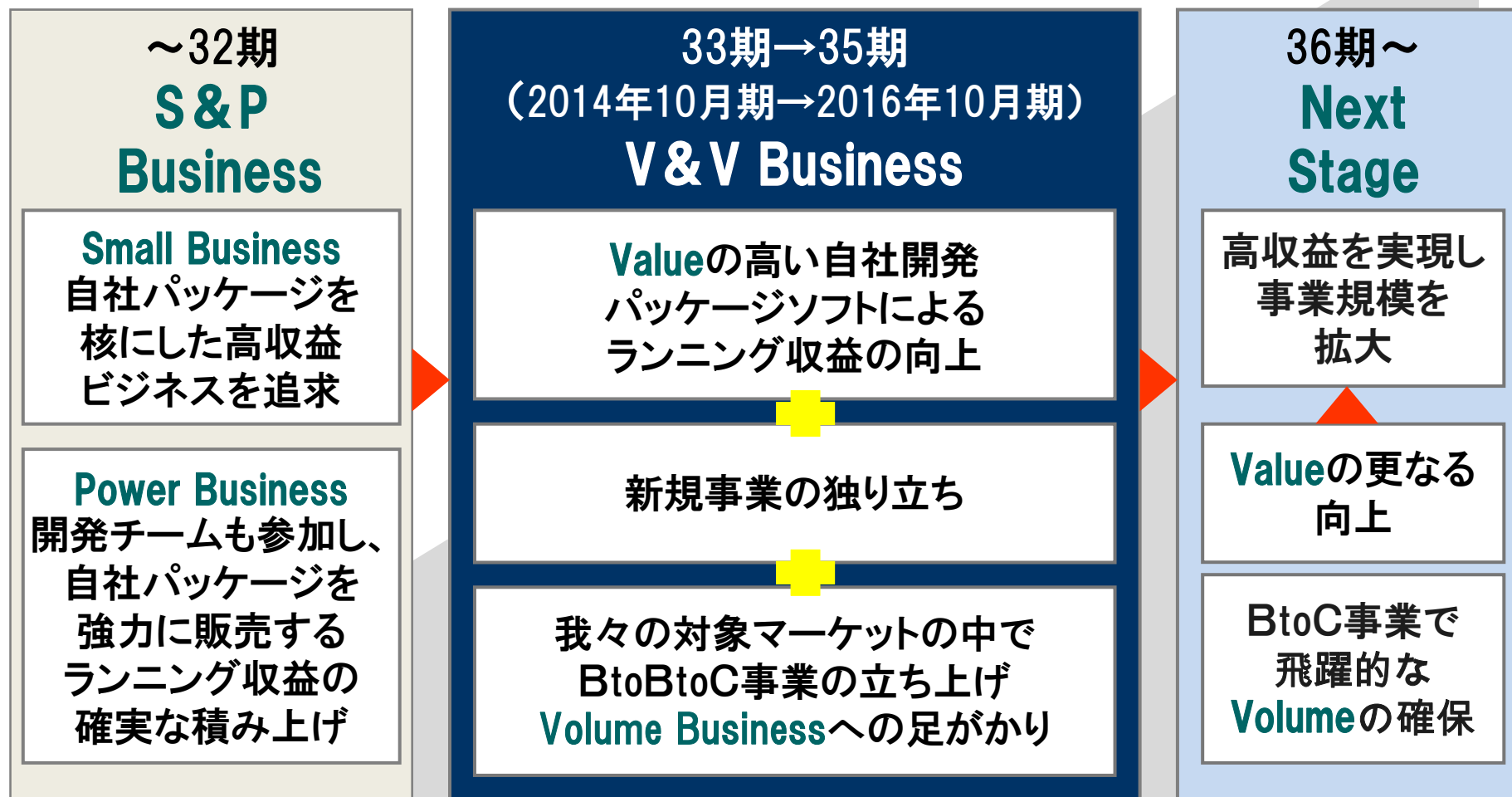
(単位: 百万円)

		2013年10月期第2四半期	2014年10月期第2四半期
	営業活動によるキャッシュ・フロー	△23	206
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△227	△100
フリー・キャッシュ・フロー		△250	106
財務活動によるキャッシュ・フロー		256	△69
現金及び現金同等物の増減額		5	37
現金及び現金同等物の期首残高		241	342
現金及び現金同等物の期末残高		247	379

当期を含む3ヶ年計画

■ 中期計画の位置づけ

JASDAQ
3804



■ 中期計画数値

JASDAQ
3804



(単位:百万円)

	2014年10月期 (33期)計画	2015年10月期 (34期)計画	2016年10月期 (35期)計画
連結売上高	2,410	2,687	2,980
営業利益	163	284	403
経常利益	150	271	391
純利益	143	252	266
EPS	44.0	77.5	81.9

■ 既存4事業の状況【学園・ウェルネス】

JASDAQ
3804



既存事業は顧客の囲い込みと新規顧客獲得によりランニング収入【サポート、クラウド利用料】の拡大を図り、利益率の向上を目指します

事業 (顧客数)	主な製品	対象マーケットの規模	対象マーケットの状況
学園 ソリューション (890)	大規模法人向け 【キャンパスプラン】 	大規模学校法人 3,000	就学生の減少により経営環境は厳しいが、情報投資は活発。 当計画期間内に会計制度の変更があり、当社にとって追い風。
	【キャンパスプランクラウド】 	中小規模学校法人 ・専門学校・幼稚園 13,000	
	保護者向けクラウドサービス(BtoBtoC)	今下期にサービス開始予定。	
ウェルネス ソリューション (621)	会員管理システム 【ハロー】 	フィットネス・スイミング・テニス・ダンススクール等 4,500	健康志向で中高年の参加率上がるが、若年人口の減少で民間施設は微増。公共の保健事業は活発化、大手参入も。
	【すこやかハロー】	体育館他公共体育施設 10,000	
	姿勢測定サービス 【WeldyCloud】(BtoBtoC)	タブレットPCの機能(機器自体の位置認識・色認識)を使用した姿勢測定サービス。クラウドで提供。 今下期にサービス開始予定。	

■ 既存4事業の状況【ソフトエンジ・薬局】

JASDAQ
3804



事業 (顧客数)	主な製品	対象マーケットの規模	対象マーケットの状況
ソフト エンジ ニアリング (183)	【規程管理システム】 【契約書管理システム】	上場会社を含む中堅の民間 企業・公益法人・学校法人 多数	景気拡大とコンプライアンス 意識の高まりで引合い増 加。 大手企業では、商談期間が 長い傾向。
	【規程管理クラウドサービス】 【契約書管理 クラウドサービス】		
薬局 ソリューション (株)シンク (1,203)	調剤薬局向け GOHL2 レセコンシステム OKISS	小規模調剤薬局 調剤薬局は5万4000店舗。 大手が約1割のシェアを持 ち、小規模個人事業者が7 割。	調剤薬局自体のマーケット は拡大しているが、小規模 事業者を対象にしているた め投資余力に乏しく、廃業な どもあって、マーケットは微 増にとどまる。
	薬歴情報電子ファイル		

クラウドコンピューティングとは

JASDAQ
3804



お客様はシステムを利用するだけ！
サーバ等の設備・保守、セキュリティ対策はクラウド(雲の)中で

データセンターのクラウド環境で顧客のデータの安全性を保証

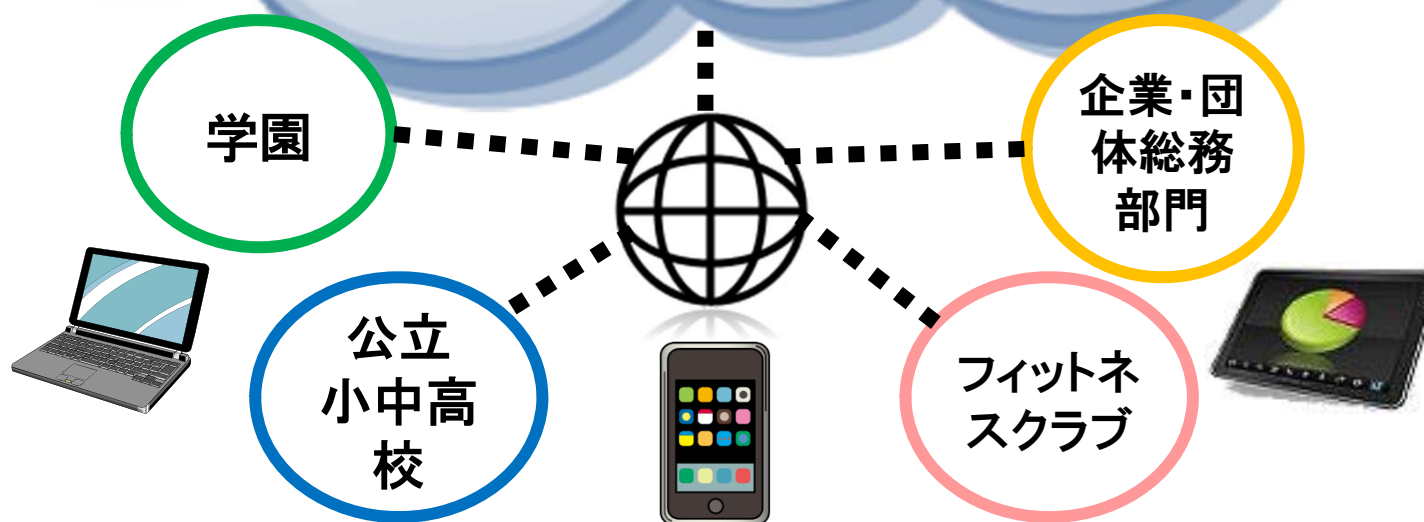
【キャンパスプラン クラウド
会計・給与システム】

会員管理システム
【Hello ASP】

【規程管理システム
クラウド・サービス】

公立小中高校向け校務支援サービス
【School Engine】

全ての仕組みは雲(クラウド環境＝仮想環境)の中！
お客様にIT知識がなくても気にせず利用できます



■ 既存事業の計画値

JASDAQ
3804



	2013年10月期 (32期)実績	2014年10月期 (33期)計画	2015年10月期 (34期)計画	2016年10月期 (35期)計画
売上高 (前年比)	1,878	1,904 (101%)	2,047 (107%)	2,130 (104%)
営業利益 (前年比)	356	361 (101%)	456 (126%)	493 (108%)
営業利益率	19%	19%	22%	23%
内ランニング 収入売上 (前年比)	464	491 (106%)	545 (111%)	566 (104%)
ランニング収入 売上比率	25%	26%	27%	27%

※本部費用は含まず

■ 新規事業【公教育】(1)

JASDAQ
3804



■ School Engine(スクール・エンジン)

クラウド型校務支援サービスの概要 クラウドでの提供可能は当社だけです

校務支援 ティーチャーナビ 	「te@chernavi」は、校務処理に係る情報を一元管理し、教職員の校務処理を支援し効率化します。
メール連絡網 	生徒保護者の携帯電話へ直接情報をメールで届けることで、保護者への確実な情報伝達を可能とします。 保護者からのメール送信により、PTA会議や授業参観等の学校行事への参加者名簿の作成や、欠席届の連絡が出来ます。
学校用グループウェア ミライム 	学校の先生との共同研究によって開発された、学校運営特化したグループウェアで、最小限の操作で最大限の情報活用を実現します。



『School Engine／校務支援システム(teachernavi)』は、APPLIC(一般財団法人全国地域情報化推進協会)より、「地域情報プラットフォーム適合製品(教育情報アプリケーションユニット)」として推奨を受けました。

School Engineは東日本大震災復興支援クラウドフォーラムに参加しています。

■ 新規事業【公教育】(2)

JASDAQ
3804



■ School Engineの必要性

日本の公立中学の現状 日本の教員の週平均の勤務時間は最長

OECD国際教員指導環境調査(2014/6/25発表)

比較項目	日本	OECD平均
1学級当たりの生徒数	31人	24人
1校当たりの教員数	24人	45人
教員の平均年齢	42歳	43歳
教員の週平均勤務時間	53.9時間(OECD最高)	38.3時間

(主な内訳)

授業時間	17.7時間	19.3時間
授業準備	8.7時間	7.1時間
学校運営業務	3.0時間	1.6時間
一般事務	5.5時間	2.9時間
課外授業	7.7時間	2.1時間

新規事業【公教育】(3)

JASDAQ
3804



■事業の発展期 クラウド(当社の最大の優位点)の流れは始まったばかり



【スパイラル】なパッケージの発展＝パッケージの価値向上

■導入実績(導入実績一覧はご参考頁に記載しております)

全国**567**校に導入 (対象は全国の公立小中校32,000校)

- 岩手・静岡・和歌山・広島・香川・宮崎・沖縄及び京都市の県・市立高校への導入
- 敦賀・鯖江・南足柄市の小・中学校で日本初のパブリッククラウド利用による稼働

公教育【School Engine】納入実績一覧

JASDAQ
3804



(2014年4月末現在)

☆北海道・東北

- ◆北海道
 - 釧路市立北陽高等学校「te@chernavi」
- ◆岩手県
 - 岩手県教育委員会「te@chernavi」高校7校(H26年度稼働予定)

☆関東

- ◆東京都
 - (私学)淑徳小学校「milim」クラウド
- ◆千葉県
 - 県教育委員会「te@chernavi」高校3校
 - 我孫子市教育委員会「じんじん」小中学19校 クラウド
 - 匝瑳市教育委員会「milim」中学2校 クラウド
- ◆神奈川県
 - 南足柄市教育委員会「te@chernavi」「milim」小中学9校 クラウド
 - 金沢中学校「milim」
 - (私学)湘南学園「じんじん」小・中学 クラウド
 - (私学)横須賀学院「milim」小中高校3校 クラウド
 - (私学)横浜学園高校「じんじん」クラウド

☆東海・信越

- ◆静岡県
 - 県教育委員会「te@chernavi」高校・特別支援校125校
 - 磐田市教育委員会「milim」小中学33校
 - 御前崎市立「milim」7校 クラウド
 - 掛川市立「milim」8校
- ◆三重県
 - 県立北星高校(H25年度稼働予定)「te@chernavi」
 - (私学)海星中学高校「milim」クラウド
- ◆愛知県
 - (私学)愛知中学・高校「じんじん」クラウド
 - (私学)弥富市私立高校「milim」
- ◆福井県
 - 敦賀市教育委員会「te@chernavi」「milim」「じんじん」全小中21校 クラウド
 - 鯖江市教育委員会「te@chernavi」「milim」「じんじん」小中15校 クラウド
 - 越前町立中学校「milim」中学2校 クラウド

☆近畿

- ◆京都府
 - 福知山市教育委員会「milim」全小中学35校
 - 京丹後市教育委員会「milim」全小中39校
 - 京都市立高校「te@chernavi」(H25年度稼働予定)9校
- ◆和歌山県
 - 和歌山県教育委員会「te@chernavi」全県立 高校44校
- ◆兵庫県
 - 県立阪神昆陽高校「te@chernavi」
 - 県立網干高校「te@chernavi」
 - (私学)甲南学園「じんじん」クラウド
- ◆奈良県
 - 県立情報商業高校「じんじん」クラウド
 - (私学)西大和学園中学・高校「milim」クラウド
- ◆大阪府
 - (私学)金蘭千里丘中・高等学校「milim」クラウド
 - (私学)吹田市私立高校2校「milim」
 - 河内長野市教育委員会「milim」20校

☆中国・四国

- ◆広島県
 - 県教育委員会「te@chernavi」(H26年度稼働予定)8校
- ◆香川県
 - 香川県教育委員会「te@chernavi」全 県立39校

☆九州・沖縄

- ◆福岡県
 - 宗像市教育委員会「milim」20校「じんじん」4校 クラウド
- ◆宮崎県
 - 宮崎県教育委員会「te@chernavi」(H26年度稼働予定)38校 クラウド
- ◆鹿児島県
 - 霧島市教育委員会「milim」小中高校49校
- ◆大分県
 - 杵築教育委員会「te@chernavi」「milim」全小中19校
 - 国東市教育委員会「te@chernavi」「milim」全小中18校

■ 新規事業【公会計】(1)

JASDAQ
3804



■ 新公会計ソフト【**PPP**(トリプルピー)】の開発、販売
固定資産台帳を整備し、複式簿記の決算処理で財務諸表を作成するパッケージ

既に**180**の地方公共団体に導入。(導入実績一覧はご参考頁に記載しております)

■ 背景

地方自治体の会計処理方法の改革 → 自治体財政の健全化と可視化(透明化)

家計簿方式(単式簿記)



企業会計方式(複式簿記)

2013年6月14日閣議決定
「企業会計原則による公
会計導入の促進と公共施
設の資産管理・経営改革
の重要性」



民間の会計基準
に準じた財務諸
表・固定資産台帳
の作成・提示を要
請



2014年4月
「今後の地方公会計の整備促進—今後の
新地方公会計の推進に関する研究会
報告書」を総務省が発表。処理方法の
指針を明示。

■ 4月の総務省の発表を受け、【**PPP V4** 総務省統一基準対応版(仮称)】を
2014年8月にリリース予定。

■ (株)新公会計研究所 自治体へ、「新公会計基準」導入コンサルティング
及び地方自治体財政計画のソリューションを提供。

■ 新規事業【公会計】(2)

JASDAQ
3804



■ 総務省発表を受けた新聞記事

総務省／公共施設管理に「固定資産台帳」活用／自治体に17年度までの作成要請

総務省は、全地方自治体を対象に、公共施設のマネジメントに活用できる固定資産台帳を含む財務書類を17年度までに作成するよう要請する。同省が示した統一基準を基に、インフラや建築物のデータを一元化した固定資産台帳を整備すれば、道路や橋脚、庁舎など同種資産の中で状況を比較でき、メンテナンスの優先順位付けや施設の統廃合の判断に生かせる。（後略）

[2014年5月26日1面 日刊建設工業新聞]

2017年度迄に固定資産台帳の整備

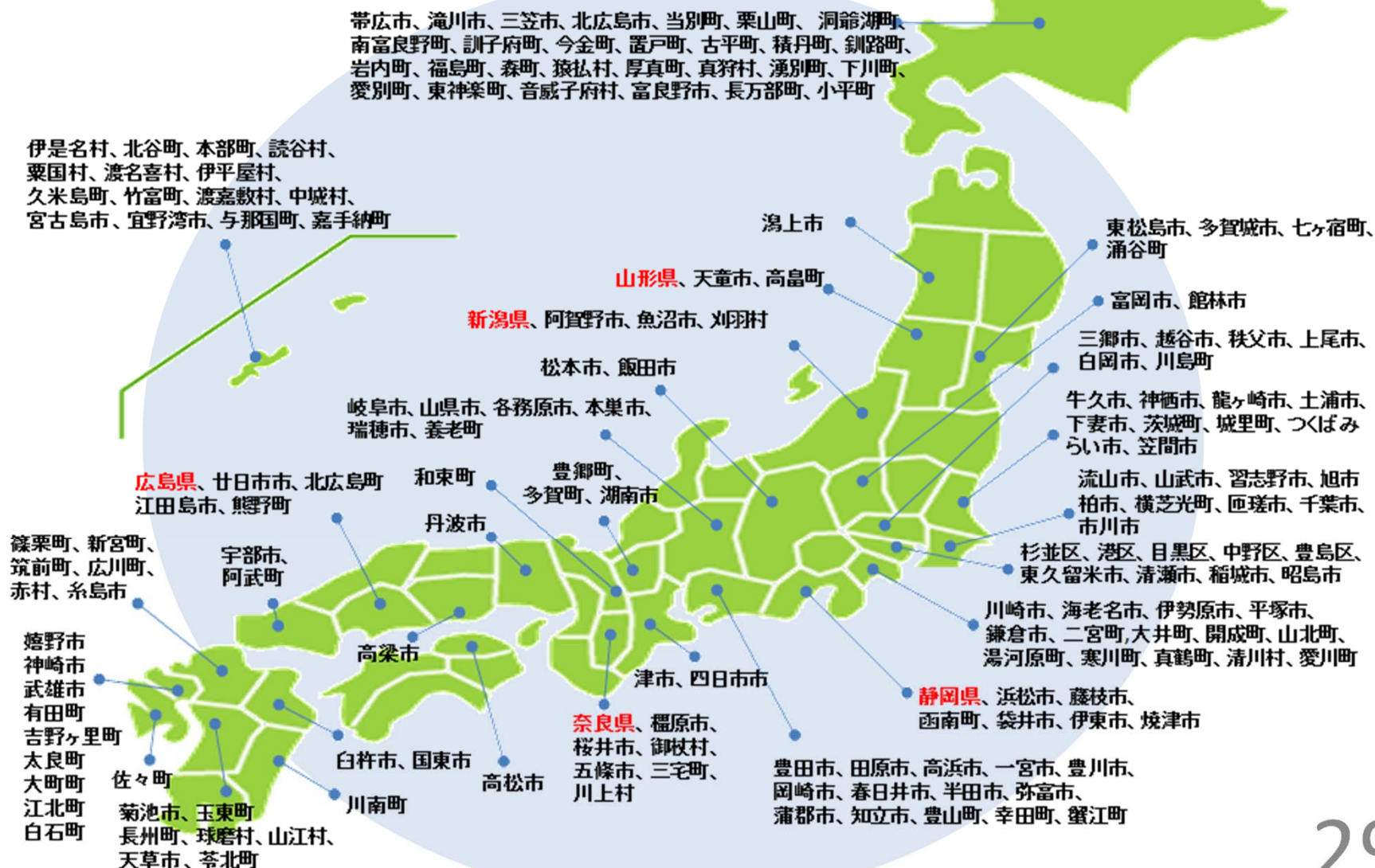
全自治体(都道府県・市町村・特別区)が対象 **1,788**
2011年度決算での状況は17%が整備、整備中が32%
システムディは**180**の自治体の導入実績で先行

公会計【PPP】納入実績一覧

JASDAQ
3804



全国180の自治体に納入(2014年4月末現在)



■ 新規事業の計画値

JASDAQ
3804

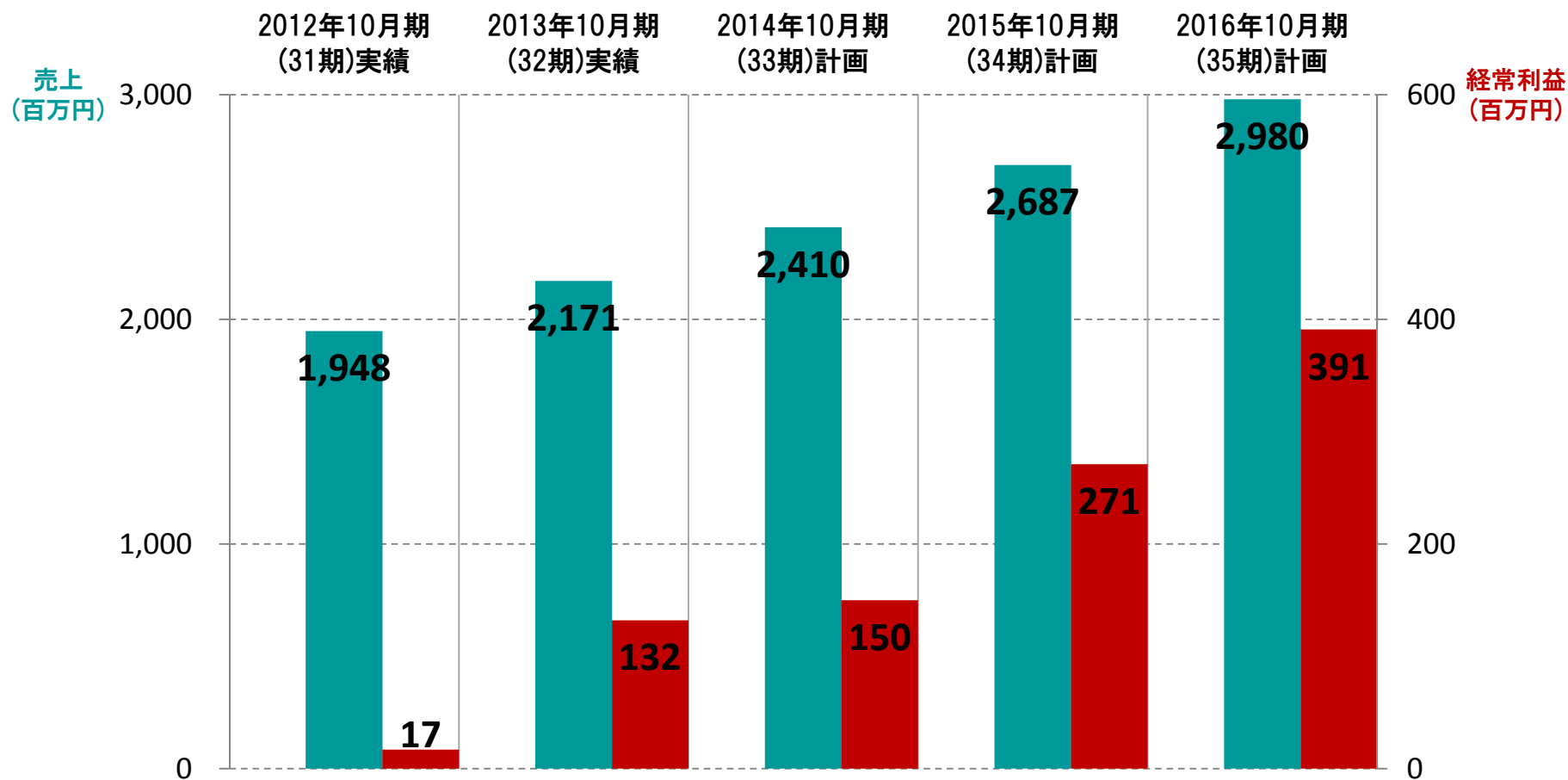


	2013年10月期 (32期)実績	2014年10月期 (33期)計画	2015年10月期 (34期)計画	2016年10月期 (35期)計画
売上高 (前年比)	292	505 (173%)	640 (126%)	850 (133%)
営業利益 (前年比)	8	30 (344%)	80 (260%)	160 (200%)
営業利益率	3%	6%	13%	19%
内ランニング 収入売上 (前年比)	68	87 (127%)	155 (178%)	350 (226%)
ランニング収入 売上比率	23%	17%	24%	41%

※本部費用は含まず

売上高・経常利益推移の計画値

JASDAQ
3804



本日はお忙しい中、
ご来場頂きましてありがとうございました。
今後ともシステムディを宜しくお願い致します。



株式会社 システムディ
代表取締役 堂山 道生



JASDAQ
3804



ご参考

現状の主な製品と今後ラインナップ計画

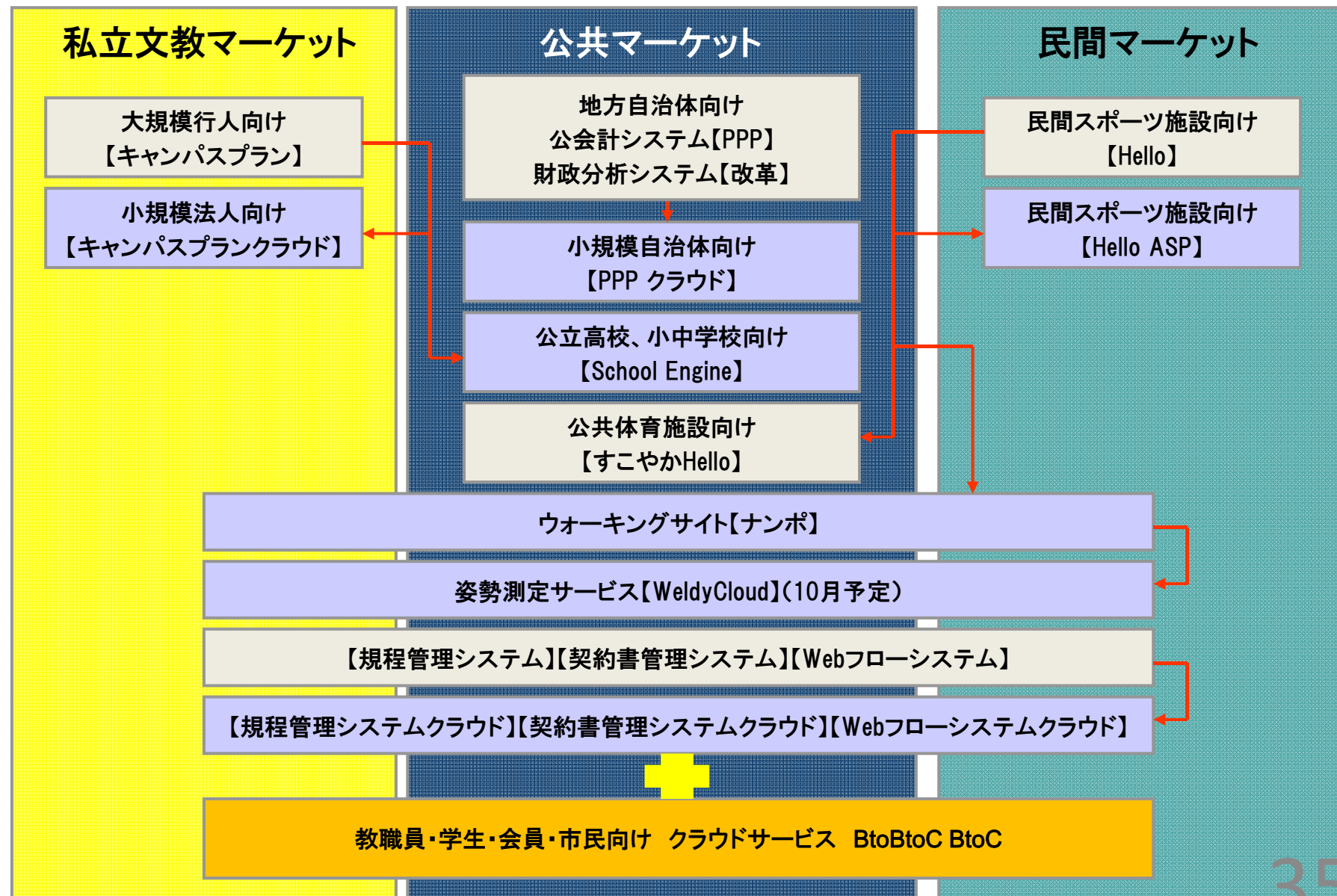
JASDAQ
3804



	Value Business	Volume Business【クラウドで提供】	
	BtoB(パッケージ+サポート)	BtoB(利用料)	BtoC(利用料)
学園 ソリューション	大規模学校法人向け 【キャンパスプラン】	小規模法人向け 【キャンパスプランクラウド】	学生・教職員・父兄向け クラウドサービス
ウェルネス ソリューション	民間スポーツ施設向け【Hello】 公共体育施設向け【すこやかHello】	民間スポーツ施設向け 【Hello ASP】	ウォーキングサイト【ナンポ】 姿勢測定サービス 【WeldyCloud】(10月予定)
ソフト エンジニアリング	【規程管理システム】 【契約書管理システム】 【Webフローシステム】	【規程管理システムクラウド】 【契約書管理システムクラウド】 【Webフローシステムクラウド】	
薬局 ソリューション	薬局向け 【レセコンシステム】 【薬歴管理システム】		
公教育 ソリューション		公立高校、小中学校向け 【School Engine】	生徒・父兄・教職員向け クラウドサービス
公会計 ソリューション	地方自治体向け 公会計システム【PPP】 財政分析システム【改革】	小規模自治体向け 【PPP クラウド】	住民向け クラウドサービス
発売中 発売中(クラウド) 計画中(クラウド)			

システムディの対象マーケットと製品

JASDAQ
3804

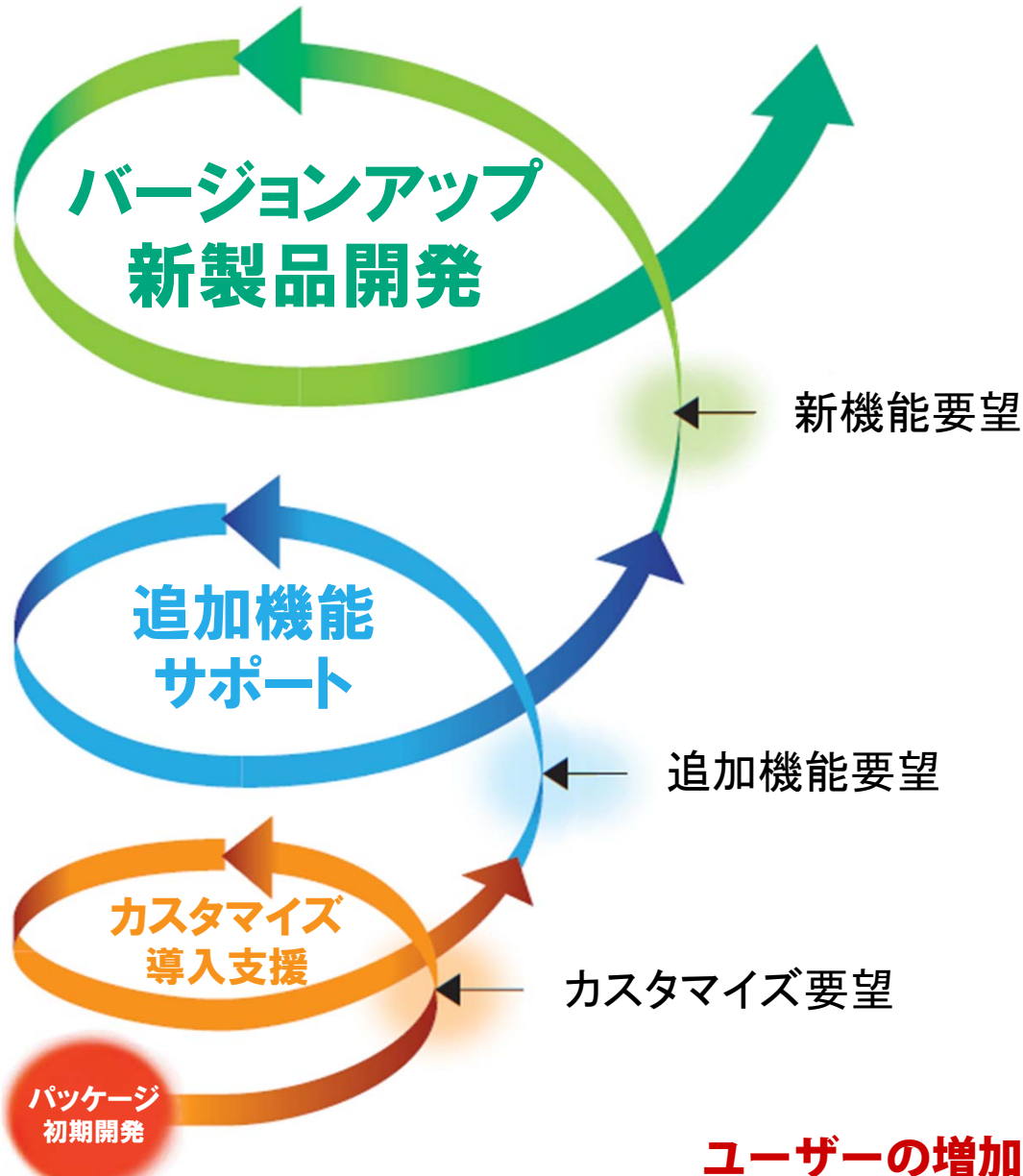


システムディのパッケージビジネス

JASDAQ
3804



パッケージ品質の向上



パッケージ品質の向上
と
ユーザーの増加
が
スパイラルに発展する
業種特化
パッケージビジネス

ユーザーの増加

■ 自社パッケージの当社はクラウド化の推進で

JASDAQ
3804



パッケージ競争力
の強化

シェア
の拡大

収益
の拡大

【クラウド化の当社のメリット】

- ① 納品人件費の大幅な削減
 - ・機器セットアップ、セキュリティ設定等の客先作業が不要
 - ・基本ソフト・ミドルウェア等の設定作業が不要
- ② パッケージ開発費の削減
- ③ サポート費用の大幅削減 現地対応が不要
- ④ 長期利用による固定的(顧客の固定化)なランニング収益

【顧客のメリット】

- ① 導入時初期費用の大幅な削減
 - ・サーバ・セキュリティ機器等のハードウェア費用が不要
 - ・基本ソフト・ミドルウェア等のライセンス費用の削減
- ② 1顧客では費用面で導入が難しかった高度なセキュリティ環境を利用可能
- ③ 運用・メンテナンスコストの削減